

2026年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社エスティック
Electric-Servo-Tool-Intelligent-Corporation



JPX STANDARD 証券コード 6161
<https://www.estic.co.jp>



日本

- 世界的なEV需要の鈍化の中、グローバルな投資計画見直しによる設備投資減
- 米国関税の影響により自動車大手各社が通期見通しを下方修正するなど大幅な減益



北米

- 関税政策の影響により内需の成長ペースは鈍化
- 通商・環境政策の転換を受け投資計画の見直し等慎重な設備投資



中国

- 政府による景気刺激策により最終消費が押し上げられ、底堅い経済成長を維持
- 自動車産業では、生産・販売台数ともに前年同月比でそれぞれ10%以上増加

売上高

35 億円

前期比：減収 △7.3%

地域別売上高は、中国市場で前年同期を大幅に上回り、その他アジア地域(インド・台湾・韓国)、でも伸長した一方、日本、北米、EU市場は米国関税政策による設備投資計画の見直しやEV需要の鈍化も重なり、販売は総じて低迷しました。

製品別売上高は、全セグメントで減収となりました。

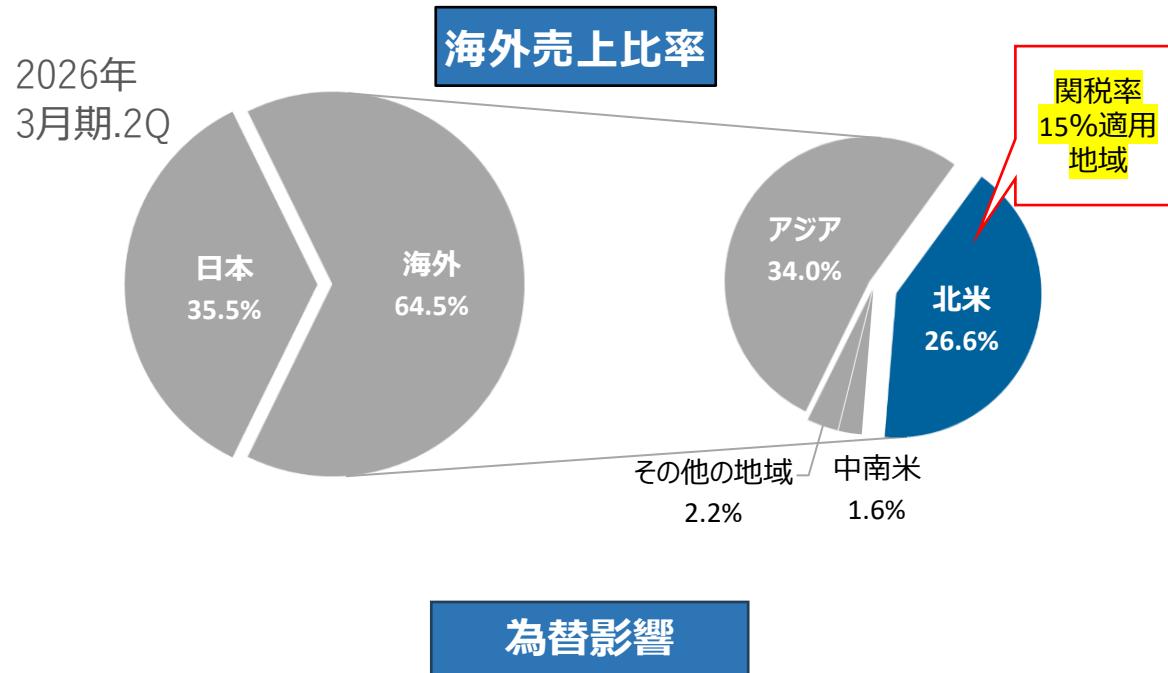
特にネジ締付装置は米国関税政策の影響により、設備投資計画を延期・中止・縮小する動きが顕在化し、前年を大きく下回った結果、全体の減収に大きく影響しました。

営業利益

5.8 億円

前期比：減益 △7.1%

原材料価格や人件費の高騰による原価率の上昇、さらに販売費及び一般管理費の増加が利益を圧迫しました。加えて、売上高が計画を下回ったことも重なり、利益も前年同期を下回る結果となりました。



通貨	2025年3月期 <u>Ave.RATE</u>	2025年3月期.2Q <u>Ave.RATE</u>	2026年3月期予算 想定RATE	2026年3月期.2Q 予算比業績影響	為替感応度 対通期予算 (百万円)
	(円)	(円)	(円)	(百万円)	
US\$	151.57	148.61	147.00	+9	14 (1円あたり)

米国関税引き上げの業績影響への対策

1.価格転嫁によるコストアップ吸収

米国では一部製品への価格転嫁を実施し、関税影響による仕入コストのアップ分については概ね吸収。
(利益面においては今期業績への影響は軽微)

2.市場の多様化

米国市場への依存度を下げるため、特にインドやインドネシア、韓国等のアジア地域を中心に重点的に拡販体制を強化しつつ、業界の拡大によるリスク分散も合わせて実施。

3.生産性向上によりコスト増抑制

業務改善による生産性向上により固定費等のコスト増の抑制を図る。

単位：百万円／%	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,778	100.0%	3,504	100.0%	▲274	▲7.3%
売上原価	2,156	57.1%	1,912	54.6%	▲243	▲11.3%
売上総利益	1,621	42.9%	1,591	45.4%	▲30	▲1.8%
販売管理費	998	26.4%	1,011	28.9%	13	1.3%
営業利益	623	16.5%	579	16.5%	▲44	▲7.1%
経常利益	655	17.3%	596	17.0%	▲59	▲9.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	439	11.6%	400	11.4%	▲39	▲8.9%
一株当たり当期純利益（円）	44.17		40.20			

・ **売上高**
地域別品種別の詳細は
後のページで詳細説明いたします。

・ **売上原価**
原材料価格の高騰、賃上げによる
労務費の増加により、各セグメント
の原価は上昇傾向にありますが
製品セグメントのミックス効果に
より原価率は抑えられました。

・ **販売管理費**
賃上げ等により人件費が上昇傾向
にありますが、経費関係の上昇は
抑制施策により軽微。

参考データ

PBR

0.85倍

0.97倍

為替レート（対米国ドル/円）

2025年3月期2Q 142.67円
(9.20時点)

2026年3月期2Q 148.05円
(9.20時点)

単位：百万円	2025年3月20日	2025年9月20日	増減		
流動資産合計	8,421	7,651	▲770	現預金 売掛債権 在庫	▲764 ▲328 +283
有形固定資産合計	2,598	3,202	+604	建設仮勘定	+646
無形固定資産合計	26	30	+3		
その他投資資産合計	1,010	956	▲54	敷金 保険積立金	+32 ▲50
総資産合計	12,056	11,839	▲216		
流動負債合計	1,160	997	▲163	未払金 未払法人税	▲64 ▲105
長期負債合計	325	294	▲30	長期未払金	▲41
負債合計	1,485	1,292	▲193		
株主資本合計	9,913	10,043	+129	利益剰余金	+121
純資産合計	10,570	10,547	▲23		
負債・純資産合計	12,056	11,839	▲216		

・現預金/建設仮勘定

標準品組立工場の新設移転計画で、設計が完了し8月より建設スタート、2026年11月完成予定となっております。その関連費用として建設仮勘定の増加及び現預金が減少しております。

・売掛債権

売上減少に伴う売掛債権の減少。

・在庫

下半期に納入を予定している設備案件の仕掛品増加及び販売増加を見込んだ標準品の在庫積み増しによる増加です。

地域別品種別売上 | 前年同期比

ESTIC

単位：百万円	2026年3月期 第2四半期						前年同期比増減					
	品種 地域	ナットランナ	ハンドナットランナ	サボプレス	シグネット付装置	修理点検	計	ナットランナ	ハンドナットランナ	サボプレス	シグネット付装置	修理点検
日本	219	422	19	442	138	1,242	+27	▲63	▲0	▲235	+9	▲262
北米	89	697	7	57	80	932	+17	▲44	+2	▲88	▲21	▲134
中国	144	388	0	85	3	622	▲89	+117	▲3	+85	+1	+111
アジア (中国除く)	165	304	8	62	30	570	+16	+54	+1	+52	▲3	+121
中南米	7	43	1	0	3	57	▲6	▲50	▲1	▲13	▲8	▲80
その他の地域	8	64	0	0	6	78	▲5	▲22	0	+0	▲0	▲28
合計	634	1,921	36	649	262	3,504	▲39	▲9	▲1	▲200	▲23	▲274

・日本市場

米国関税動向様子見て設備投資は全体的に当期もスロースタート、HNR、装置が軟調

・北米市場

米国も関税問題やEV需要の鈍化から設備投資は鈍化、HNRも伸び悩む

・中国市場

現地系自動車メーカー、部品メーカーの開拓進む、HNR、設備で大幅なプラス

・アジア

好調なインドを中心に主要セグメントで伸長

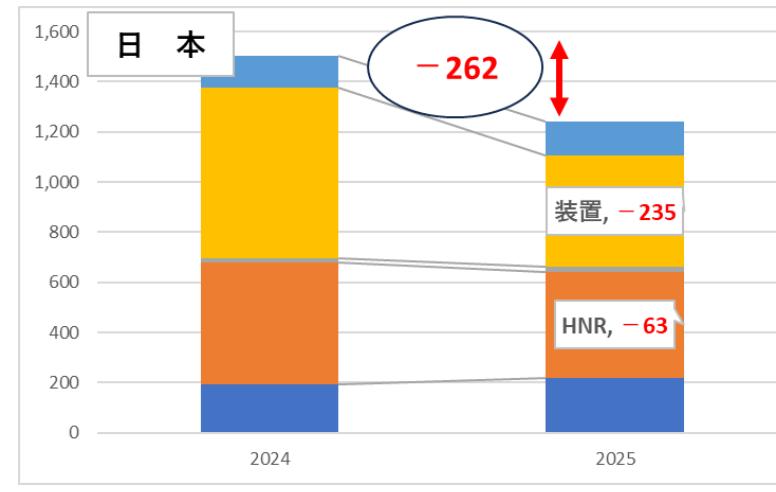
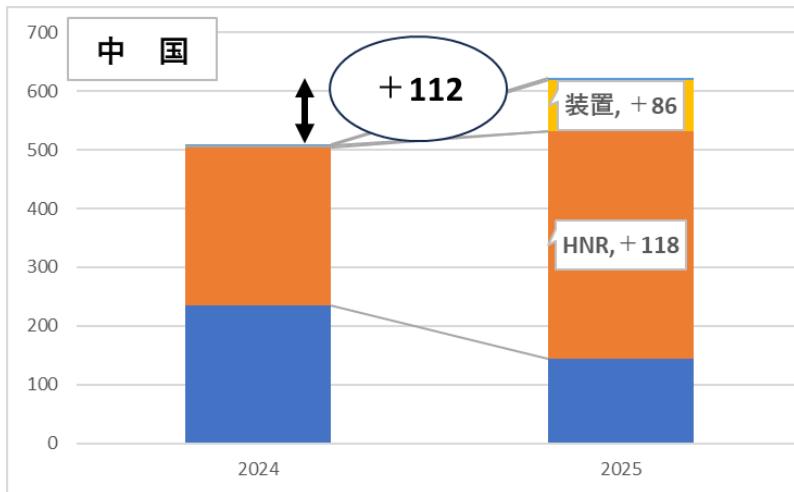
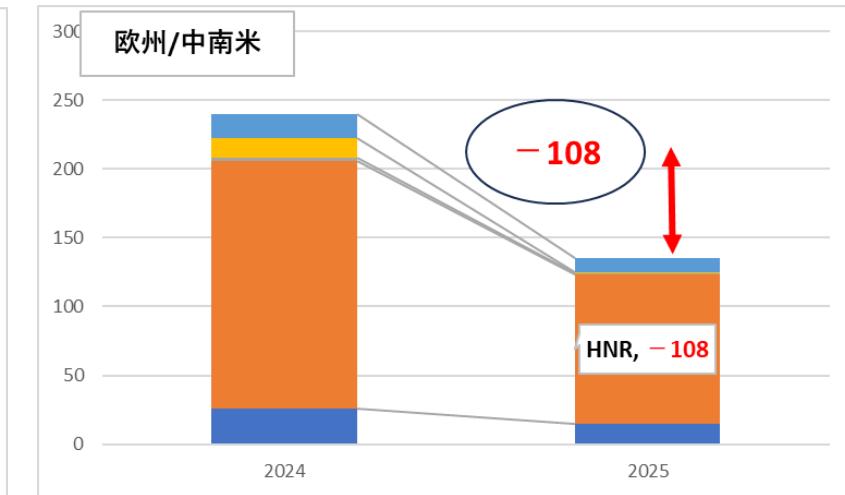
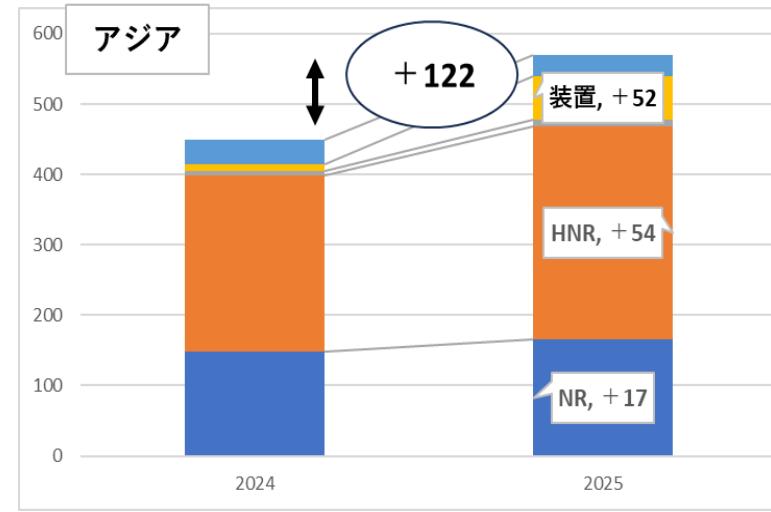
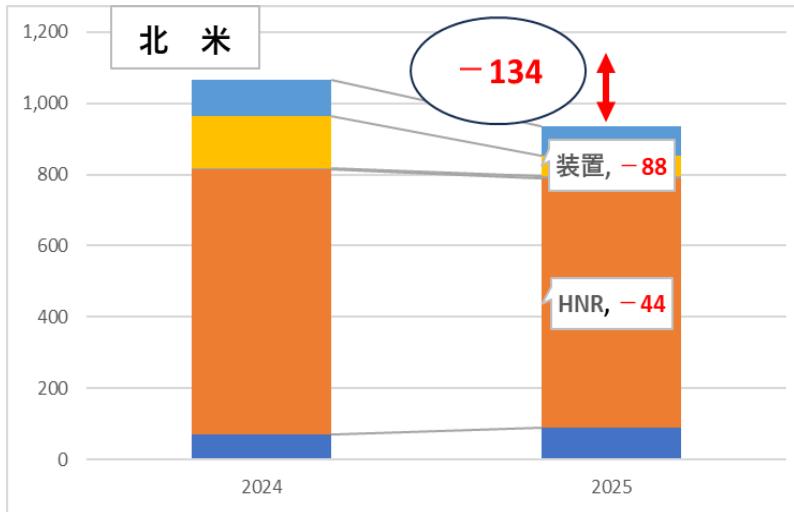
・欧州/中南米

関税問題、EV需要の鈍化による投資計画縮小

地域別品種別売上高（主要地域） | 前年同期比 2Q比較

ESTIC

単位：百万円

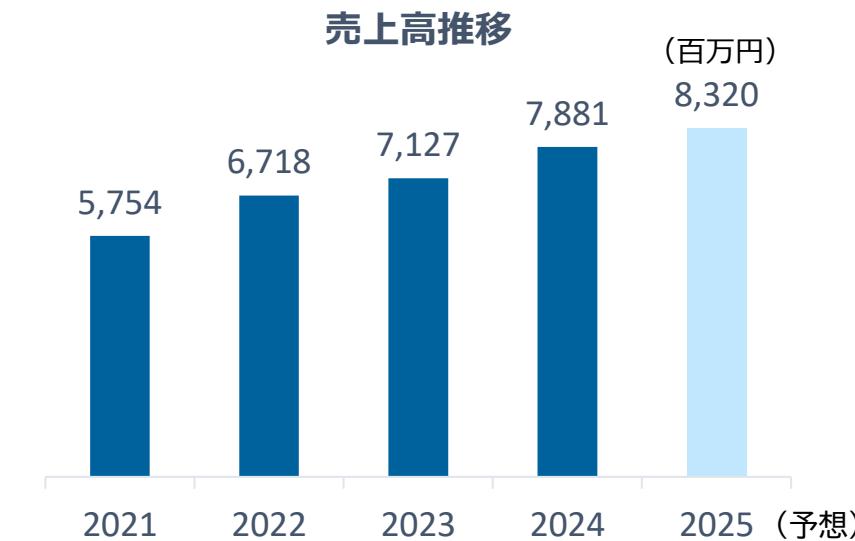


« 前年比プラス »
中国、アジア
« 前年比マイナス »
北米、日本、欧州/中南米

連結業績予想（通期PL予想）

ESTIC

単位：百万円	2025年3月期		2026年3月期(予想)		増減	増減率
売上高	7,881	100%	8,320	100%	+439	+5.6%
売上原価	4,217	53.5%	4,464	53.7%	+247	+5.9%
売上総利益	3,663	46.5%	3,855	46.3%	+192	+5.2%
販売費・一般管理費	2,025	25.7%	2,157	25.9%	+132	+6.5%
営業利益	1,637	20.8%	1,698	20.4%	+61	+3.7%
経常利益	1,723	21.9%	1,734	20.8%	+11	+0.6%
当期純利益	1,181	15.0%	1,192	14.3%	+11	+0.9%



連結業績予想（品種別売上高予想）

ESTIC

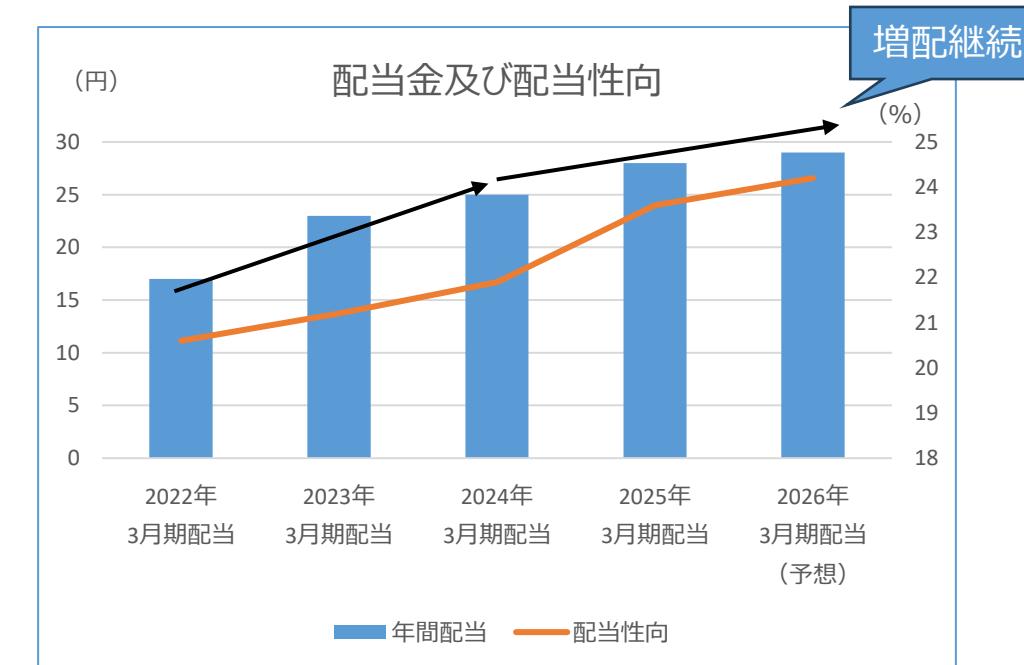
単位：百万円	2025年3月期		2026年3月期(予想)		増減	増減率
ハンドナットランナ	4,571	58.0%	4,893	58.8%	+322	+7.0%
ナットランナ	1,389	17.6%	1,293	15.5%	▲96	▲6.9%
ネジ締付装置	1,301	16.5%	1,446	17.3%	+145	+11.1%
サーボプレス	66	0.8%	126	1.5%	+60	+90.9%
修理点検	553	7.0%	562	6.7%	+9	+1.6%
合計	7,881	100%	8,320	100%	+439	+5.5%

- ・ハンドナットランナ
国内後半増加
米国2Q以降増加傾向
中国EV自動車メーカー投資旺盛
- ・ナットランナ
前期より微減(ネジ締付装置での受注と相反)
- ・ネジ締付装置
設計の標準化やユニット化の促進により生産
キャパアップ及び粗利拡大を目指します。

配当方針

財務体質の強化・充実を図り、将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております

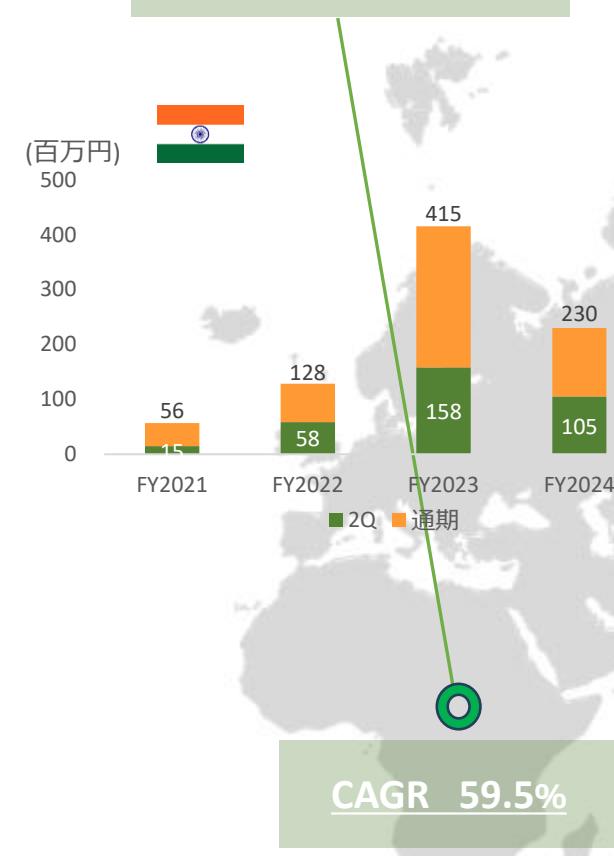
	2025年3月期	2026年3月期 (予想)
年間配当金	28円	29円
配当利回り	3.10%	-
配当性向	23.6%	24.2%



業務改善による生産性向上及び関税影響の最小化により、安定配当を目指します。

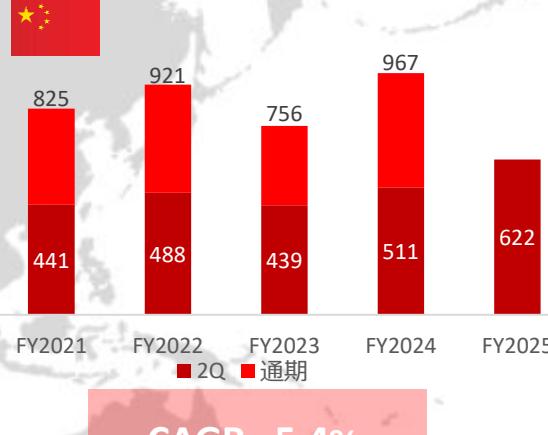
インド

代理店を起点とした
販売強化の効果が堅調



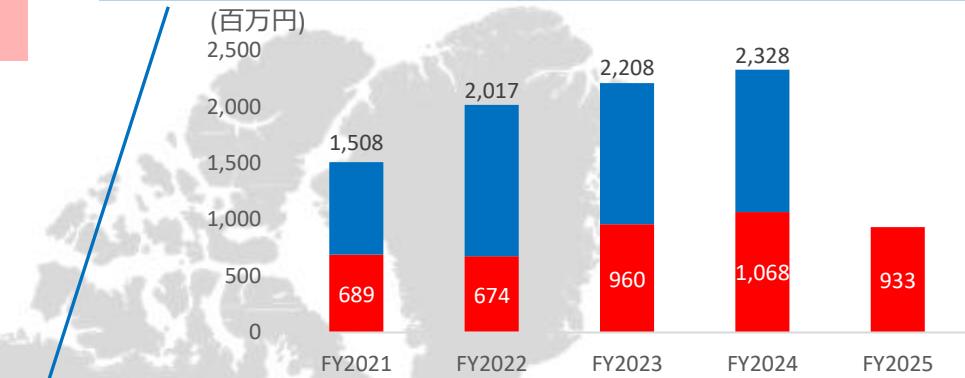
中国

- ・駐在員増員により現地ローカルユーザーへ攻勢を強める
- ・ユーザーの多様化（バス・重工機等）による販路拡大

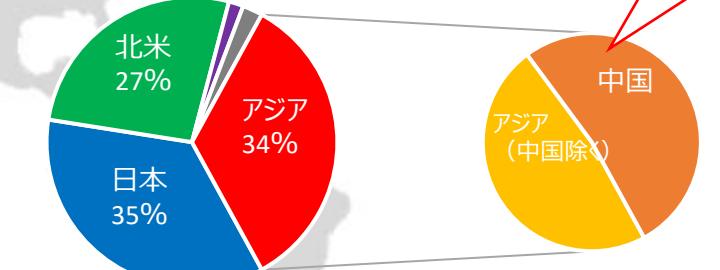


北米

- ・EV市場の成長鈍化により設備投資は軟調傾向
- ・大手EVメーカーの大口案件や新規分野の開拓進む



2025/2Q 売上実績（全世界地域別）



アジア全体の
52%が中国
(過半越え)

※CAGR = 年平均成長率（直近4年分）

- * **ユーザー多様化**への取り組み
自動車以外の分野(建機・農機、電子機器、二輪、大型車両、航空)へユーザー層を拡充していく
- * **中国マーケット戦略強化**のため自社営業スタッフ常駐を増強し、より一層のユーザーホスピタリティ、現地系メーカーへの販路拡大に取り組む
- * **執行役員制度**を施行しガバナンス体制の強化・意思決定の迅速化を目指す
- * **REP2025**【Renovation Estic Project 2025】により全社的に業務の現状分析を図り、リノベーションを実施し、戦略的な業務運営ができる仕組みを構築する
- * **生産能力增强**し売上拡大に対応するため標準品工場を新築拡大移転着手

自動車産業
(完成車メーカー・部品メーカー)

*ポテンシャルは様々な業界
へ拡がる

- ・建設・設備
- ・農業機器
- ・大型車両（バス/トラック）
- ・二輪
- ・エネルギー・重工業
- ・電子機器・家電
- ・半導体・精密機器
- ・航空・宇宙

◆開拓実績ユーザー◆

建機



二輪（EV含）



大型車両



«重要テーマ»

大型車両

- ・工程自動化による省人化
- ・安全対策
- ・トレーサビリティ確保

二輪

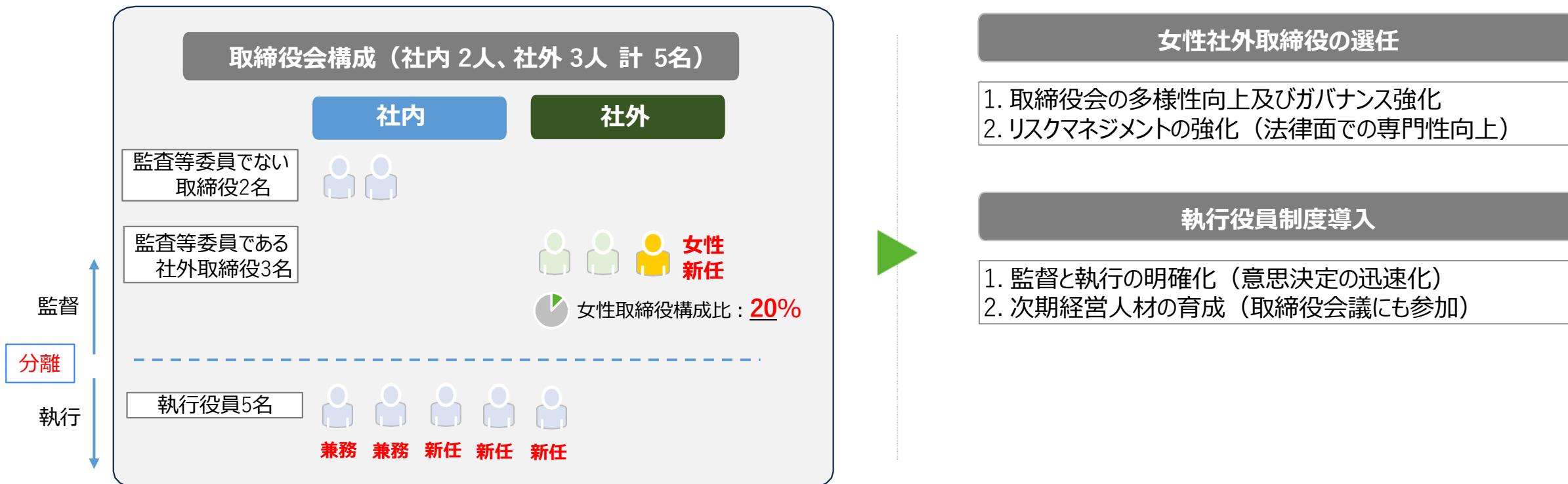
- ・サイクルタイム短縮
- ・品質管理
- ・トレーサビリティ確保

建機・農機

- ・電動化による省人化、
トレーサビリティ確保

執行役員制度導入により監督と執行の明確化を図り、業務の機動性を高めることで、経営の意思決定スピードを速め取締役会ではより戦略的な議論とモニタリングに集中します。

新たに女性の社外取締役（弁護士）を選任し、取締役会の多様性向上と法律の専門性・バックグラウンドを活かしリスクマネジメントやコーポレートガバナンスの強化を図ります。



国内の標準品組立工場の移転へ向けて創業以来、過去最大となる設備投資へ着手。
投資総額 約18億円(予定)。延床面積 約4,000平米。4階建ての新工場が2026年11月に竣工予定。



現場強化

生産能力増強

長期ビジョンを達成するため
生産能力増強



生産拠点の最適化

粗利益を生み出す

目標とする利益を生み出せる
ものづくり現場への深化



従業員工エゲージメント

働きがいの向上

ものづくりを支える従業員への
人的資本投資を強化

長期ビジョン達成に向けた攻めの投資により世界で戦える基盤を早期に構築。

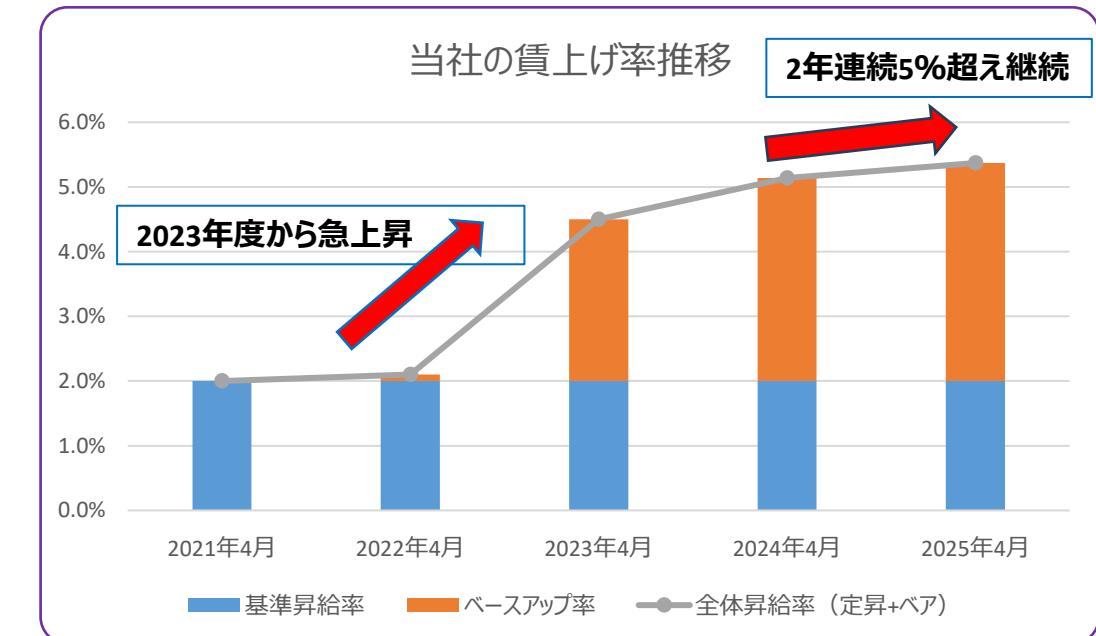
ESTIC社内の業務プロセスや情報システムなどの
抜本的な見直し、再設計、再構築

Reengineering ESTIC Processes

業務改善 REP2025 プロジェクト始動 (全8ヶ月間におよぶ全社横断プロジェクト)

背景

- ✓ 原材料費と仕入れ価格の継続的な高騰
- ✓ エネルギーコストの上昇（電気・ガス・ガソリン代等）
- ✓ **賃上げによる人件費の増加**

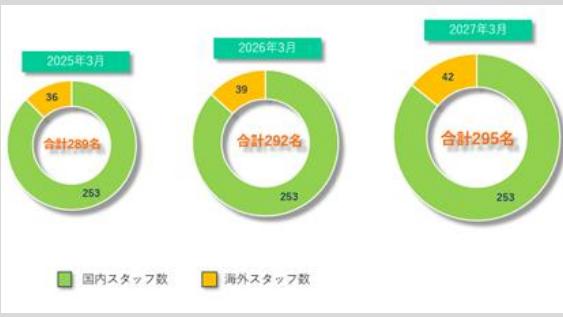


抜本的な業務の見直しにより生産性向上を図り
構造的なコスト高を吸収して目標利益を確保します。



成長戦略 | 中期経営計画達成状況

ESTIC

中期経営計画				達成状況																				
数値目標		2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	項目	2026年3月期計画	FY2025.2Q時点進捗状況	通期での達成見込																
	売上高	78億円	85億円	90億円	売上高	8,500百万円	実績 3,504百万円 進捗率41.2%	現予想で達成率97.9%																
	営業利益	16億円	18億円	19億円	営業利益	1,800百万円	実績 579百万円 進捗率32.2%	現予想で達成率94.3%																
	営業利益率	20.6%	21%	21%	営業利益率	21%	実績16.5% 乖離△4.5%	現予想で達成率20.4%																
	ROE	13%以上を目標	13%以上を目標	14%以上を目標	ROE	13%以上	—	現予想で12%前後																
	配当性向	23%以上を目標	24%以上を目標	25%以上を目標	配当性向	24%以上	—	配当予想では24.2%																
重点戦略	重点戦略				施 策		実施状況																	
	 <ul style="list-style-type: none"> 販売基盤強化 <ul style="list-style-type: none"> ◇海外市場拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・海外大手ユーザー認証取得促進 ・ユーザー多様化推進（非自動車、納期、連携、IoTなど） ・技術・サービスサポート機能強化（欧州・中国・インド・タイ） ・新たな拠点開設準備 ◇国内市場深耕 <ul style="list-style-type: none"> ・新規重点攻略ユーザー育成 「製品・生産基盤強化」 <ul style="list-style-type: none"> ◇製品開発 <ul style="list-style-type: none"> ・次世代モデル開発 ・市場環境変化への対応（省人化、EV化へ対応した製品企画） ・システム装置の新企画製品開発 ・各種海外規格認証対応拡充 ・DX推進による生産性向上&キャパUP 「経営基盤強化」 <ul style="list-style-type: none"> ◇執行役員制度導入 <ul style="list-style-type: none"> ・IT、DX化推進による生産性向上 ・収益力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・営業利益20%以上 ・ROE14%以上を目指す ・人的資源への投資 	海外大手ユーザー認証取得		VW独本社正式認証取得																				
アクション計画 (人材)					ユーザー多様化		農機建機メーカー拡大																	
					技術・サービスサポート機能強化（海外）		メキシコ、インドネシア																	
					新たな拠点開設準備		計画中																	
					国内新規重点攻略ユーザー育成																			
					次世代モデル開発		開発中																	
					市場環境変化への対応		EV攻略、業界多様化戦略																	
					システム装置の新企画製品開発		パートナー																	
					各種海外企画認証対応充実		NRTL認証取得（北米）																	
					新工場建設		標準品工場新設2026年11月完成予定																	
					DX連携による生産性向上&キャパUP		基幹システム更新（REP2025）																	
					執行役員制度導入		2025年4月から導入																	
 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>国内スタッフ数</th> <th>海外スタッフ数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2025年3月</td> <td>253</td> <td>36</td> <td>289名</td> </tr> <tr> <td>2026年3月</td> <td>253</td> <td>39</td> <td>292名</td> </tr> <tr> <td>2027年3月</td> <td>253</td> <td>42</td> <td>295名</td> </tr> </tbody> </table>					年	国内スタッフ数			海外スタッフ数	合計	2025年3月	253	36	289名	2026年3月	253	39	292名	2027年3月	253	42	295名		
年	国内スタッフ数	海外スタッフ数	合計																					
2025年3月	253	36	289名																					
2026年3月	253	39	292名																					
2027年3月	253	42	295名																					

会社概要

社名	株式会社エスティック(ESTIC CORPORATION)	
本社所在地	〒570-0041 大阪府守口市東郷通1丁目2番16号	
電話番号	TEL 06-6993-8855(代表)	
設立	1993年8月25日	
株式上場	東京証券取引所スタンダード市場(証券コード6161)	
役員	代表取締役 社長執行役員	鈴木 弘英
	取締役 専務執行役員	伊勢嶋 勇
	取締役 監査等委員	山本 純治
	取締役 監査等委員	大松 信貴
	取締役 監査等委員	氏家 真紀子
	執行役員・営業本部長	牛島 一裕
	執行役員・技術本部長	土田 雄一
	執行役員・生産本部長	西木 利幸
決算日	3月20日	
会計監査人	ひびき監査法人	

事業所	大阪営業所	大阪府守口市東郷通1丁目2番16号	
	東京営業所	横浜市港北区新横浜3-20-12 新横浜望星ビル2階	
	中部営業所	愛知県岡崎市康生通南2-28本田ビル	
	橋波事業所	ハンド・ナットランナ等の標準品生産工場	大阪府守口市橋波東之町2-5-9
	東郷事業所	自動組立装置／設備等の生産工場	大阪府守口市東郷通1丁目2番16号
	技術開発センター(TDC)	ねじ締付技術・圧入技術の研究開発拠点	大阪府守口市菊水通3丁目12番4号
関連会社	ESTIC America, Inc. Head Office (Kentucky Office)	北米中南米販売拠点	Suite 120, 1895 Airport Exchange Blvd, Erlanger, KY 41018, U.S.A.
	Novi Technical Center (Michigan Office)		25901 Meadowbrook Rd., Novi, MI 48375 - U.S.A.
	ESTIC (Thailand) Co., Ltd.	タイ販売拠点	2 Soi Lasalle 29, Bangna Tai, Bangna, Bangkok 10260, Thailand
	Shanghai ESTIC Co., Ltd.	中国市場生産及び販売拠点	1159Lane, Kandiao EastRoad, Pudong, Shanghai 201315, China

会社概要

海外ネットワーク



📍 海外拠点

▼ ESTIC America, Inc. Head Office

▼ ESTIC America, Inc. Novi Technical Center

▼ Shanghai ESTIC Co., Ltd.

▼ ESTIC (Thailand) Co., Ltd.

当社製品紹介

ハンドナットランナ

ハンドナットランナは高い精度を要求される重要部品のねじ締付に最適な手持ち式電動工具です。締付に関する各種データを記録し、確実なトレーサビリティをご提供します。また、トルク管理だけではなく角度管理や時間管理もできるため、さまざまな締付不良の検知が可能です。

エスティックのハンドナットランナは、特許を取得した低反力のパルス締付と高精度のダイレクト締付に対応しています。



ハンドナットランナ

有線タイプのハンドナットランナ。1N·mから600 N·mまで多数のツールをラインナップ。幅広いトルク帯に共通のコントローラで対応できます。



コードレスナットランナ

無線で通信するコードレスタイプ。ケーブルが無いため作業者の機動性が高く、入り組んだ場所での締付作業に最適です。



スカラロボット

SCARAロボット（水平多関節ロボット）は、水平方向にアームが動作する産業ロボットです。高速で水平方向に移動するのが特徴で、先端部は上下に動きます。エスティックでは、SCARAロボットとハンドナットランナを組み合わせたねじ締めロボットを提案しています。

当社製品紹介

ナットランナ

設備用の電動ナットランナ。機械に組み込んで使用します。高精度にこだわるエスティック製品のなかでも、最高の締付精度を誇ります。エラー検知やトルク管理等の機能が正常に動作しているか、動作前に常に自己診断を行います。

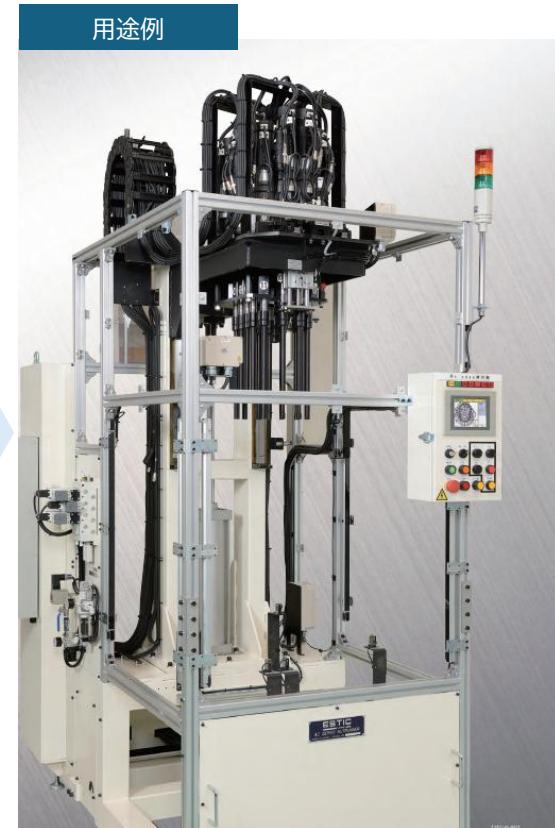


ツールユニット

客先オーダーメード
のネジ締付装置に組
み込んで使用



コントロールユニット



用途例

信頼の高性能サーボナットランナシステム

最高水準の精度、動作応答性、極めて高い耐久性
トレーサビリティを必要とするあらゆるネジ締結ニーズに対応

・締付毎の自己診断機能
・トルクの二重監視
トルクセンサ以外に電流でも監視
トルク、速度、時間等、運用に最適な監視を確実に実現

多くの機能を実現するガーバトランナシステムを完結化
適用できるようにユニバーサルマウントキット(マウントフレーム、
リード)としてマヨージントルクワーム、ターピバトル
式ディスプレイユニットを標準対応。締付シーケンス
の設定や履歴録録、I/O制御など、豊富な機能を簡単に
サポート

国家基準にトレースされる
製品トレーサビリティから各車両に
関連づけたデータ出力
10,000件を超える履歴データ、特にトルク波形の出力等
数値で結果を、次回でプロセスをレースすることが可能

高い
信頼性

簡単操作

トレーサビリティ

ネットワーク
拡張性
ボルト・ナット・ネジ締付工程の
革新的
コンポーネンツ

耐久性の向上

Ethernetによるリモート監視の
ほか各種FIELDBUSに対応
各種PLC、工場DCSシステムと協調し
運用が可能

製品品質を
見張る
監視機能

稼働時間を最大にする
極めて高い耐久性能
高耐久性減速機にレザルバ式
ワーブルを採用

トルクと角度の上昇率を監視する
トルクレート機能

繰り返し精度を
高めることで
高精度化を実現

トルクセンサと高速演算CPUによる
クローズドループハイブリッド駆動
で±3%~±2%F.S.の軸トルク精度
を実現

安定の
ネジ締結

最高の
締付精度

当社製品紹介

ネジ締付装置（自動組立装置／設備）

ネジ締付装置（自動組立機や自動機と呼ばれることもあります）は、製品を自動で組立して製造する機械のことです。手作業で行っていた締付や圧入の工程を自動化することで、省人化を実現します。エスティックではお客様の製品やニーズに合わせたオーダーメイドの自動組立装置をご提案しています。

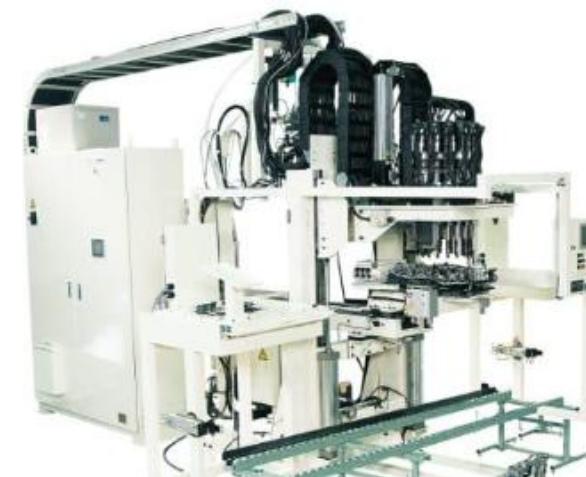
エンジン系装置



ボディ系装置



ミッション系装置



当社製品紹介

サーボプレス

サーボプレスは電動ナットランナの開発で培ったサーボモータの制御技術を活かして開発されました。加圧に関するさまざまなデータを収集できるため、トレーサビリティは万全です。荷重だけでなく、時間や位置データで判定を行うため、圧入不良を検知します。

電動駆動のため、油圧や空圧と比べて、クリーンで省エネルギーの圧入を可能にします。



【本資料における注意事項等】

本資料には株式会社エスティックの業績、計画、戦略などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。

これらの将来的予測に関する記述および資料は、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。

また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれております。

その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社ＩＲに関するお問い合わせ先】

株式会社エスティック 管理部 IR担当

TEL 06-6993-8080

URL <https://www.estic.co.jp>